

令和2年4月3日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市長立大学学生課

主幹 成瀬 陽子 (電話:052-872-5041)

(名古屋市長記者クラブと同時発表)

個人情報を含むメールの誤送信について

名古屋市長立大学において、個人情報が含まれるメールを誤送信する事案が発生しましたので、市の報道対応に則り、下記のとおりご報告します。

記

1 誤送信したメールに含まれる個人情報等

本学の退学者の氏名、退学日、傷害保険（学生は全員必須加入のもの）の還付金額

2 誤送信の状況

(1) 令和2年4月1日（水）11時50分頃

傷害保険の保険料還付のため、傷害保険担当職員が退学した本学学生の所属研究科職員に学生の連絡先（メールアドレス）を問い合わせ、メールにて回答を受けた。傷害保険担当職員は回答にあった学生の姓のみ確認を行い、当該メールアドレスに上記1の情報を記載したメールを送信した。

(2) 令和2年4月1日（水）15時55分頃

メールを受信した本学学生から別の方へのメールが届いているとの連絡があり、確認したところ、同姓の別の本学学生への誤送信であったことが発覚した。

3 発覚後の対応

(1) 令和2年4月1日（水）18時45分頃

誤送信先の学生へメールにて謝罪し、誤送信したメールの削除を依頼。

(2) 令和2年4月1日（水）18時50分頃

退学した学生に電話で謝罪

4 再発防止策

(1) 学生の個人情報を所属間で確認する際は学籍番号と併せて確認することを徹底する。

(2) 退学者が提出する様式の見直しを行い、学生の個人情報を照会する機会を減らす。

(3) 職員を対象として、個人情報保護の重要性に関する研修等を行い、意識の向上及び周知徹底を図る。